

SocketPartner(SP)

Ver.3.01

操作説明書

1.01版

2006年9月1日

株式会社アドバンスドブレイン

制定 改版 履歴

| 版数 | 年月日 | 区分 | 内容 理由 | 承認 |
|------|------------|----|--|----|
| 1.00 | 2006/07/20 | 初版 | ver.3.00用に新規作成 | |
| 1.01 | 2006/09/01 | 改版 | ver.3.01用に以下を追加 インストール時にインストーラを使用する旨を記載 一括送信コマンド追加に伴う内容を追加 ログと送受信履歴のツールボタンを追加 | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

(注意事項)

- 本書を無断で他に転載したり 複写したりしないようにお願いいたします。

Copyright 2006 Advanced Brain Corporation All Rights Reserved

Microsoft Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国、および、その他の国における商標です。

SoketPartner操作説明書

第1.01版
発行

2006年9月1日
株式会社アドバンスドブレイン
〒171-0022
東京都豊島区南池袋 3 - 15 - 13 第二前田ビル7F

目次

| | |
|---|----|
| 1. はじめに..... | 3 |
| 2. 動作条件..... | 4 |
| 2.1. ハードウェア環境..... | 4 |
| 2.2. ソフトウェア環境..... | 4 |
| 2.3. 動作環境..... | 4 |
| 3. インストールとアンインストール..... | 5 |
| インストール..... | 6 |
| アンインストール..... | 8 |
| 4. 操作..... | 10 |
| 4.3. 起動と終了..... | 11 |
| (1). SPを起動する..... | 11 |
| (2). メニュー..... | 13 |
| (3). ツールボタン..... | 14 |
| (4). インジケータ..... | 15 |
| (5). SPを終了する..... | 15 |
| 4.2. 送受信準備..... | 16 |
| (1). ソケットタイプ設定..... | 16 |
| (2). ソケット値設定..... | 16 |
| (3). ソケット接続..... | 17 |
| 4.3. 送受信..... | 19 |
| (1). コマンド送信..... | 19 |
| (2). 一括送信..... | 21 |
| プロンプト判定設定..... | 22 |
| 結果表示..... | 23 |
| (3). 受信..... | 24 |
| 4.4. その他の機能..... | 26 |
| (1). ループバック機能 (受信データをそのまま折り返し送信する。)..... | 26 |
| (2). 受信データ保存 (バイナリファイルで保存する。)..... | 26 |
| (3). SP動作履歴機能 (ログを表示する。)..... | 26 |

1. はじめに

本書は、SocketPartner (以下、SPと称します) の操作説明について記述いたします。
本書はMicrosoft Windows用アプリケーションの基本操作について理解していることを前提に説明いたします。

ご使用になる前に

- ・本書に記載した画面表示は、実際の画面表示と異なる場合があります。
- ・本書の図は、一部省略したり 抽象化して使っているものがあります。

記号

本書の中に、次の記号を使用しています。

Note!

...特に重要であることを示しています。

2. 動作条件

動作条件は、以下の通りです。

2.1. ハードウェア環境

- | | |
|----------------|------------------|
| ●パソコン仕様 | :IBM-PC/AT互換機 |
| ●推奨画面解像度 | :640 × 480以上 |
| ●推奨メモリ容量 | :32MB以上 |
| ●推奨ハードディスク空き容量 | :1MB以上 |
| ●その他 | :Ethernetインタフェース |

2.2. ソフトウェア環境

- | | |
|---------------|--------------------------------|
| ●オペレーティングシステム | :Microsoft Windows 2000 (日本語版) |
| | :Microsoft Windows XP (日本語版) |

2.3. 動作環境

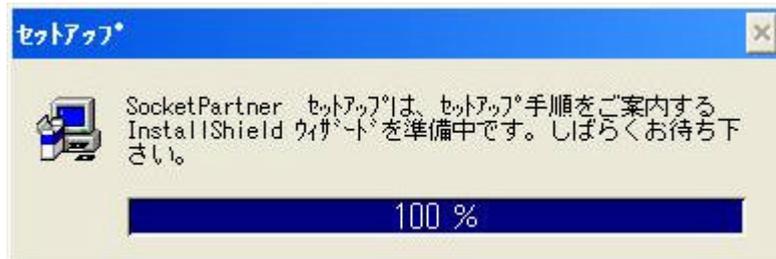
- 本製品は、Microsoft Windows 2000、および、Microsoft Windows XP上で動作します。その他のOS上の動作は保証いたしません。
- 本ツールは、専用インストーラにより提供されます。それ以外のインストールによる動作は保証いたしません。
- 同一パソコン上での、複数インストールについての動作は保証いたしません。
- アドミニストレータ権限でインストール、および、実行してください。

3. インストールとアンインストール

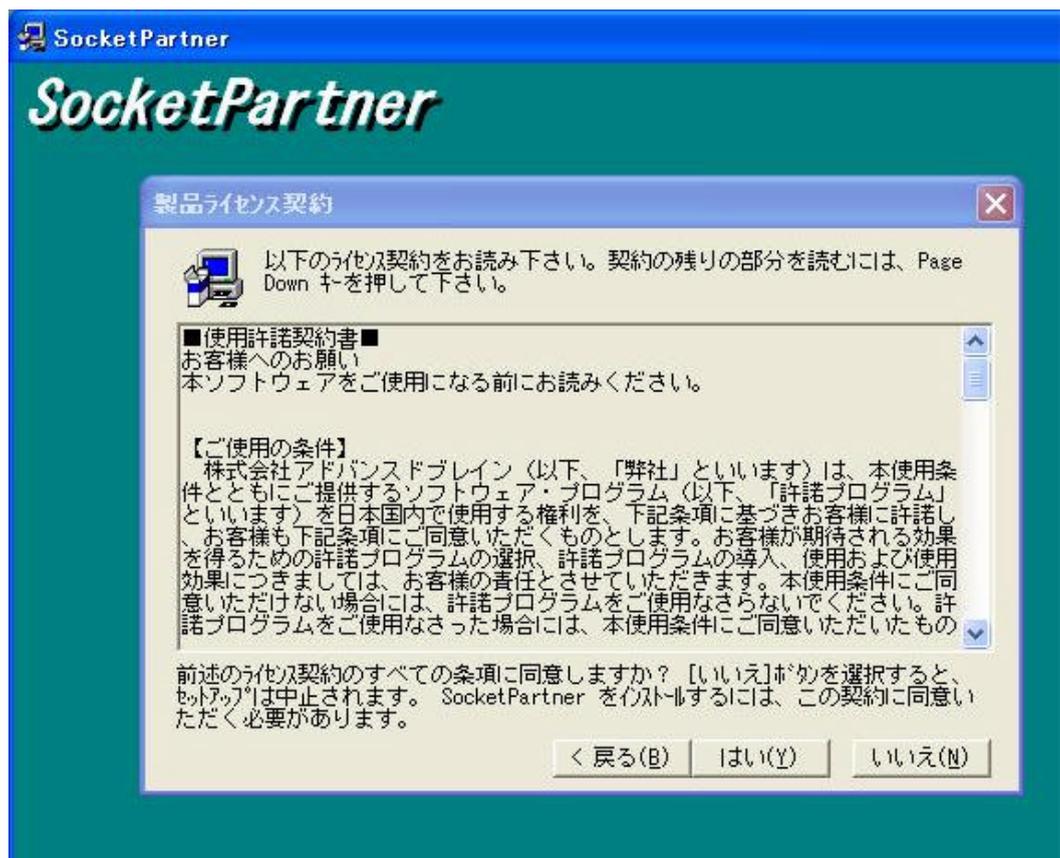
インストール

インストールディスクフォルダ ( (インストールディスク))内にあるsetup.exe ()をダブルクリックしてください。

インストールが開始され、以下の画面が表示されます。



しばらくすると、使用許諾確認の画面が表示されますので、内容をご確認の上同意する場合は「はい」ボタンをクリックしてください。



次にインストール先フォルダの指定画面が表示されます。通常はそのまま「次へ」ボタンをクリックしてください。



インストールは完了です画面が表示されますので「完了」ボタンをクリックしてください。



アンインストール

デスクトップのマイコンピュータ () をダブルクリックしてください。

コントロールパネル () をダブルクリックしてください。

プログラムの追加と削除 () をダブルクリックしてください。以下に示すような一覧が表示されますので、その中から「月間勤務予定表」を見つけてクリックしてください。



次に「変更と削除」ボタンをクリックしてください。アンインストール実行の確認メッセージが表示されますので、「はい」ボタンをクリックしてください。



アンインストールが実行され、完了すると以下の画面が表示されます。



「OK」ボタンをクリックして完了です。 の画面に戻りますが、右上の「X」ボタンをクリックしてください。

4. 操作

起動と終了、送受信準備、送受信、および、その他の機能について説明します。

4.3. 起動と終了

起動、メニュー、ツールボタン、インジケータ および、終了を(1).から(5).で説明します。

(1). S P を起動する

図4.3.2-1は、起動の操作手順を表わしたものです。起動は図中の から の手順で操作を行います。

プログラム 起動 ~ ライセンス入力 「メインメニュー」画面確認

図4.3.2-1 SPを起動する

以下に から の操作を説明します。

プログラム 起動

デスクトップ、または、スタートメニューにあるアイコン()をダブルクリックしてください。

ライセンスキー登録していない場合は以下のメッセージが表示されますので、ライセンスキーを入力して「OK」ボタンをクリックしてください。既にライセンスキーを登録している場合はへ進みます。

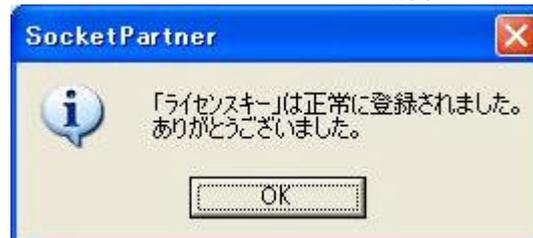


図4.3.2-2 「パスワード」入力画面

Note!

「ライセンスキー」入力画面は一度入力すれば、次回起動時からは表示されなくなります。

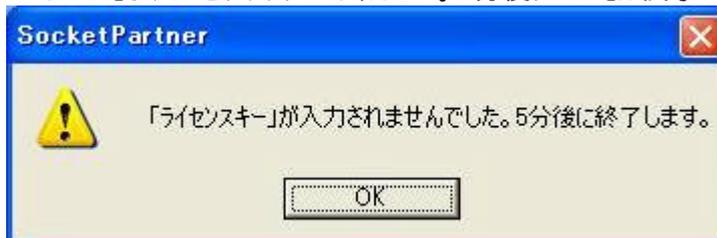
正しいライセンスキーが入力された場合は以下のメッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。「キャンセル」ボタンをクリックした場合はへ進みます。



ライセンスキーに誤りがある場合は以下のメッセージが表示されますので、「はい」をクリックして再入力してください。「いいえ」をクリックした場合はへ進みます。



ライセンスキーを入力しない場合「キャンセル」ボタンをクリックしてください。以下のメッセージが表示されますので「OK」ボタンをクリックしてください。5分後に「SP」は終了します。



以下のメイン画面が表示され起動完了です。

「メインメニュー」画面には、メニュー、ツールボタン、および、インジケータがあります。



図4.3.2-3 「メインメニュー」画面 (起動時)

(2) .メニュー

メニューは、「ファイル」、「ソケット」、「送信」、「表示」および、「ヘルプ」の5項目です。各メニューについて、図4.3.2-4から図4.3.2-8に示します。

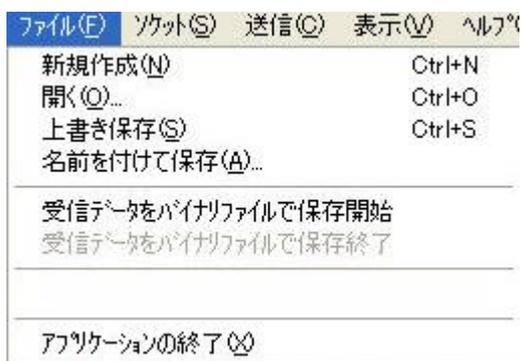


図4.3.2-4 メニュー (ファイル)



図4.3.2-5 メニュー (ソケット)



図4.3.2-6 メニュー (送信)

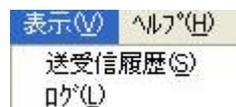


図4.3.2-7 メニュー (表示)



図4.3.2-8 メニュー (ヘルプ)

(3) ツールボタン

ツールボタンは、全部で16項目あります。各ツールボタンについて、表4.3.2-1に示します。

表4.3.2-1 ツールボタン

| ボタンイメージ | 名称 |
|---|-----------|
|  | 新規ファイル |
|  | 開く |
|  | 上書き保存 |
|  | ソケット接続 |
|  | ソケット切断 |
|  | ソケット値設定 |
|  | ソケットタイプ設定 |
|  | コマンド送信 |
|  | 一括送信 |
|  | ループバックON |
|  | ループバックOFF |
|  | 受信データ保存開始 |
|  | 受信データ保存開始 |
|  | ログ |
|  | 送受信履歴 |
|  | バージョン情報 |

(4). インジケータ

色、または、文字によりSPの現在の状態を表示するものです。メインメニューのインジケータは、「接続状態」、「ソケットタイプ」、および、「送受信状態」の3種類です。各インジケータを、図4.3.2-9に示します。



図4.3.2-9 インジケータ

(5). SPを終了する

図4.3.2-10に示すメイン画面の右上隅の終了ボタンをクリックしてください。

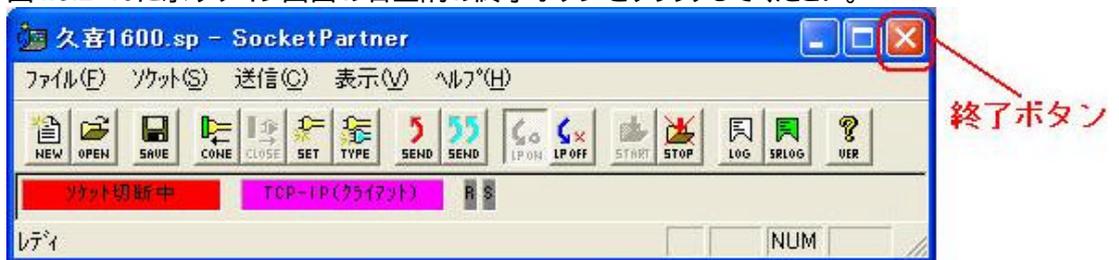


図4.3.2-10 終了ボタン

ライセンスキーが登録されていない場合は5分で以下のメッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。



4.2. 送受信準備

ここでは、送受信をおこなうための、ソケットタイプ設定、ソケット値設定、および、ソケット接続について説明します。

(1).ソケットタイプ設定

メニュー「ソケット」→「タイプ」、または、ツールボタン  (ソケットタイプ)をクリックしてください。図4.4.1-1に示す「ソケットタイプ設定」画面が呼び出されます。

設定したいソケットタイプラジオボタンをクリックして、「OK」ボタンをクリックしてください。

設定されたソケットタイプは図4.4.1-2に示すメイン画面のインジケータに表示されます。(ここでは、UDP/IPのソケットタイプになっています。)



図4.4.1-1 ソケットタイプ設定



ソケットタイプ

図4.4.1-2 ソケットタイプインジケータ

Note!

TCP/IP (サーバ)時のクライアント最大数は1です。複数のクライアントには対応していません。

(2).ソケット値設定

メニュー「ソケット」→「設定」、または、ツールボタン  (ソケット設定)をクリックしてください。図4.4.2-1に示す「ソケット設定」画面が呼び出されます。

この画面はソケットタイプにより、設定内容が異なります。

図4.4.2-1にUDP/IP時、図4.4.2-2にTCP/IP (サーバ)時、また、図4.4.2-3にTCP/IP (クライアント)時について説明します。

各項目を入力後、「OK」ボタンをクリックしてください。



図4.4.2-1 UDP/IP



図4.4.2-2 TCP/IP (サーバ)

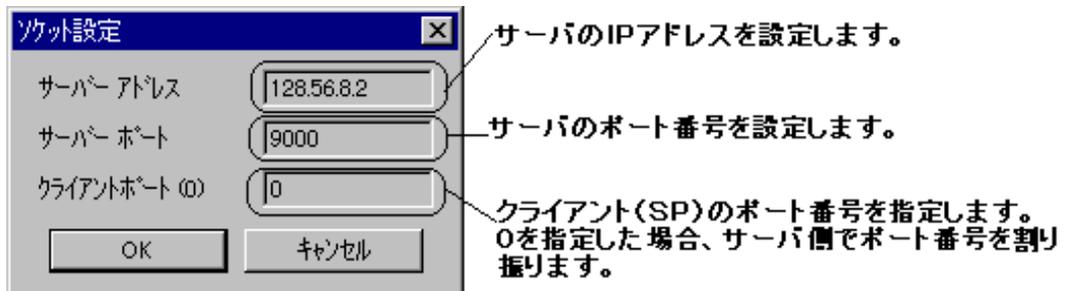


図4.4.2-3 TCP/IP (クライアント)

Note!

ソケットタイプがTCP/IP (クライアント)時のクライアントポートに0以外を設定した場合、接続 切断を繰り返すと接続できなくなる場合があります。

(3).ソケット接続

メニュー「ソケット」→「接続」、または、ツールボタン  (ソケット接続)をクリックしてください。

メインメニューの「接続状態」インジケータの表示が、図4.4.2-1に示す内容の様に变化します。



図4.4.2-1 「接続状態」インジケータ(“切断中”：赤 “確立待中”：黄 “接続中”：緑)

Note!

ソケットタイプがTCP/IP (クライアント)時のみに「ソケット接続確立待ち」状態が存在します。
また、この状態で、サーバー側からの応答が無い場合は「ソケット切断」状態に遷移します。

4.3. 送受信

(1). コマンド送信

メニュー「送信」→「コマンド送信」、または、ツールボタン  (コマンド送信) をクリックしてください。

図4.5-1に示す「コマンド送信」画面が呼び出されます。

エディタ内に送信するデータを定義して、「送信」ボタンをクリックすることにより送信されます。

エディタ内に定義した内容は「ファイル書込」ボタンと「ファイル読込」ボタンにより、再利用することが出来ます。

定義データはHEXコードによる指定とテキスト形式での指定が可能です。

図4.5-2にHEXコードによる指定例を、また、図4.5-3にテキスト形式による指定例を示します。



図4.5-1 「コマンド送信」画面

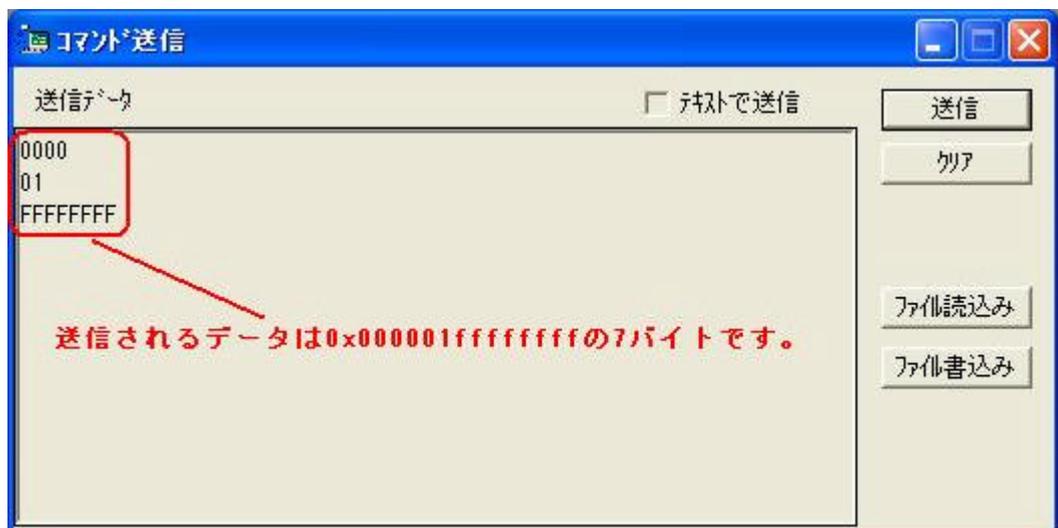


図4.5-2 コマンド送信 (HEX)例

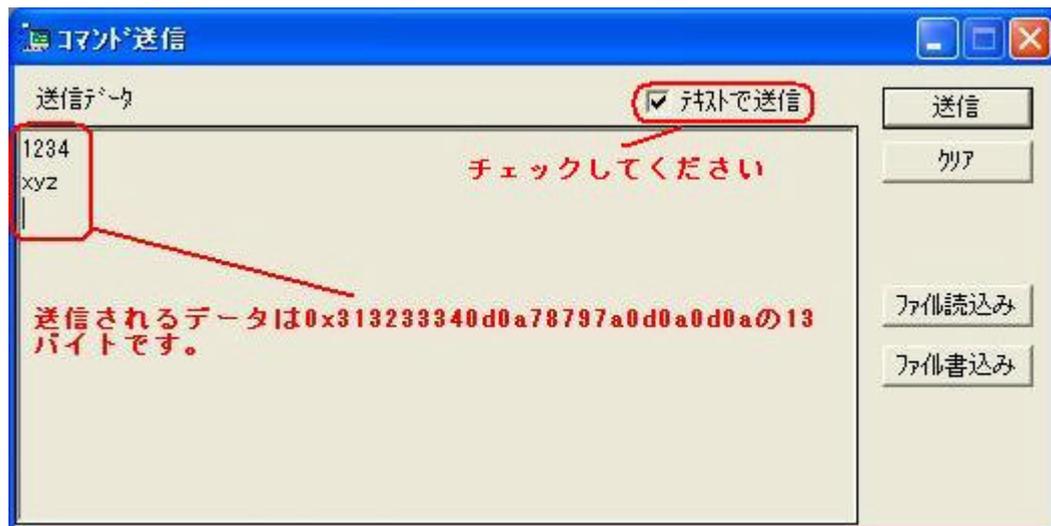


図4.5-3 コマンド送信 (テキスト形式)例

Note!

ソケットが接続されていない場合は、「送信」ボタンは無効になっており、送信できません。
バイナリファイルを直接送信することはできません。
本画面と同時に「一括送信」画面は開きません。

(2).一括送信

メニュー「送信」→「一括送信」、または、ツールボタン  (一括送信) をクリックしてください。

図4.6-1に示す「一括送信」画面が呼び出されます。

接続先アドレスにIPアドレス、接続先ポートにポート番号、送信ファイル名に送信するコマンドを記述したテキストファイルを指定してください。入力した内容は、CSVファイルに保存できますので、必要に応じて「CSVファイル読み込み」ボタン、または、「CSVファイル書き込み」ボタンを使用してください。

送信を開始するには、「一括送信開始」ボタンをクリックしてください。No.1より順番に送信を開始します。中止するには「中止」ボタンをクリックしてください。

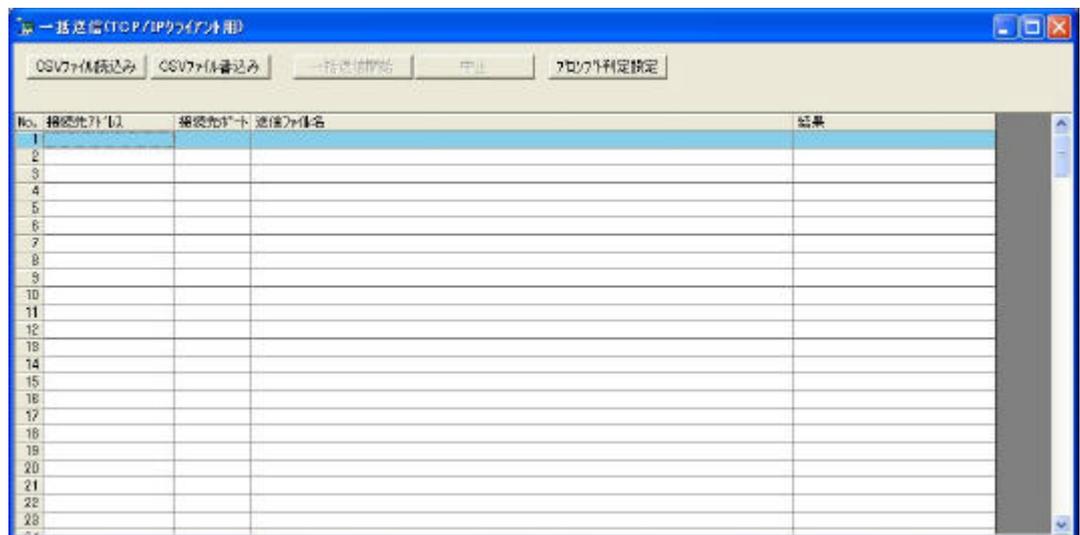


図4.6-1 一括送信

Note!

本画面を開いている時は、 「受信データ保存開始」、 「受信データ保存開始」、 「ログ」、 「送受信履歴」、および、 「バージョン情報」のみの機能が動作可能になります。

最大200件登録が可能です。

ソケットタイプはTCP/IPクライアントのみになります。

送受信データ内容を残したい場合は、受信データ保存  (バイナリファイルで保存する。)機能を利用してください。

プロンプト判定設定

接続先の応答を待ってから次コマンドを送信する場合は、接続先からの応答キャラクタを判定する必要があります。

「プロンプト判定設定」ボタンをクリックすると図4.6-2に示す「プロンプト判定設定」画面が呼び出されます。

画面内の「プロンプト文字列」の箇所に判定する文字列を入力して「OK」ボタンをクリックしてください。最大10件登録が可能です。

全て未入力にするか、あるいは、指定文字列は無視して応答を待たずに次コマンドを送信する」チェックボタンがチェックした場合は、本機能は無効になります。

図4.6-2 プロンプト判定設定

上記画面では「>」「>」「#」「#」「:」の5件が登録されていますが、この設定は「初期値にする」ボタンをクリックすることにより入力されます。なお、すでに設定がある場合はクリアされますので、注意してください。

Note!

インストール直後は何も設定されていないので、本機能は有効になっていません。

結果表示

結果には「x:接続できません」、「x:送信ファイルが見つかりません」、「:正常終了しました」、
処理中」、および、「中止しました」が表示されます。

| No. | 送信先IP | 送信先IP + 送信ファイル名 | 結果 |
|-----|----------------|---|------------|
| 1 | 121.118.161.88 | D:\Documents and Settings\kyokochi\Desktop\config.txt | O:正常終了しました |
| 2 | 121.118.161.88 | D:\Documents and Settings\kyokochi\Desktop\config.txt | O:正常終了しました |
| 3 | 121.118.161.88 | D:\Documents and Settings\kyokochi\Desktop\config.txt | O:正常終了しました |
| 4 | 121.118.161.88 | D:\Documents and Settings\kyokochi\Desktop\config.txt | O:正常終了しました |
| 5 | | | |
| 6 | | | |
| 7 | | | |
| 8 | | | |
| 9 | | | |
| 10 | | | |
| 11 | | | |
| 12 | | | |
| 13 | | | |
| 14 | | | |
| 15 | | | |
| 16 | | | |
| 17 | | | |
| 18 | | | |
| 19 | | | |
| 20 | | | |
| 21 | | | |
| 22 | | | |
| 23 | | | |
| 24 | | | |

図4.6-2 送信結果

(3). 受信

受信したデータを表示する場合は、メニュー「表示」 「送受信履歴」、または、ツールボタ

ン  (送受信履歴) をクリックしてください。

図4.7-1に示す「送受信履歴」画面が呼び出されます。

画面内には、発生日時、送受信種別、および、データが表示されます。

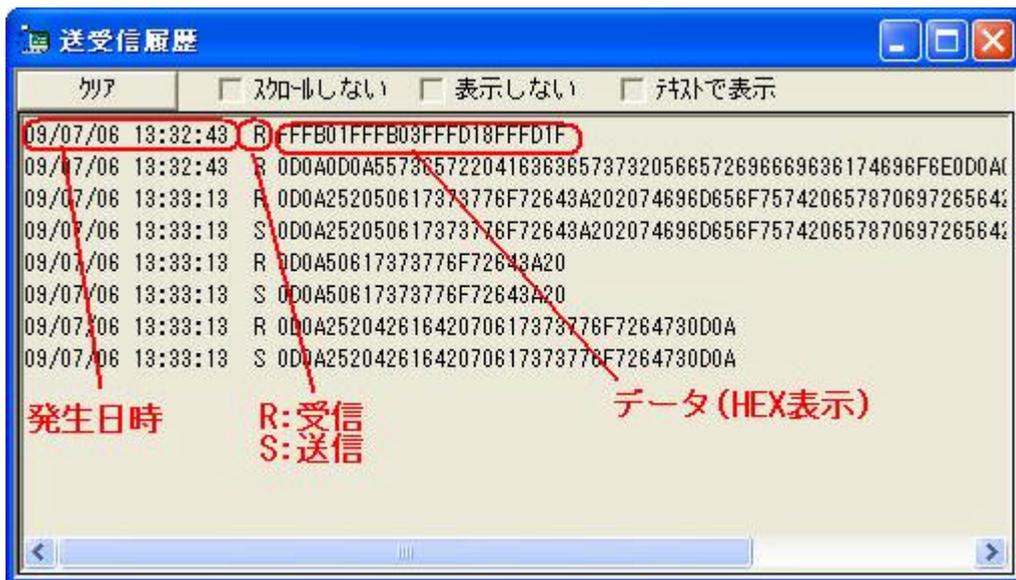


図4.7-1 送受信履歴

「テキストで表示する」チェックボタンをチェックした場合は以降の送受信データは図4.7-2に示すテキスト表示になります。

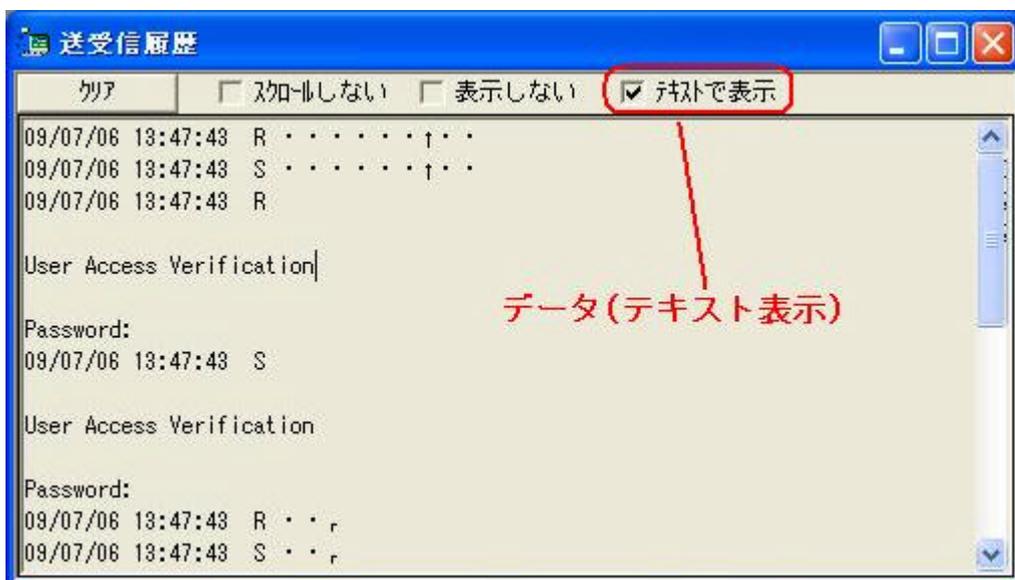


図4.7-2 テキスト表示

Note!

大量のデータを送受信した場合、処理速度の低下や表示できなくなる場合がありますので、そのような場合には、「表示しない」チェックボタンをチェックしてください。

4.4. その他の機能

その他の機能として、ループバック機能、受信データ保存、および、SP動作履歴の機能があります。以下にそれぞれの機能について説明します。

(1). ループバック機能（受信データをそのまま折り返し送信する。）

メニュー「送信」 「ループバック設定」 「ON」、「OFF」または、ツールボタン  
(ループバックON、または、OFF)をクリックすることによりループバック機能を制御できます。
この2つのメニュー、または、ツールボタンはトグルスイッチになっており必ずどちらか一方が選択されています。(選択されているほうはクリックできません。)
ONの場合は、受信したデータを即送信元に送り返します。
OFFの場合は、受信しても送信しません。

Note!

起動時にはOFFになっています。

(2). 受信データ保存（バイナリファイルで保存する。）

メニュー「ファイル」 「受信データをバイナリファイルで保存開始」、受信データをバイナリ
ファイルで保存終了」または、ツールボタン   (受信データをバイナリファイルで保存開始、
または、終了)をクリックすることにより受信データ保存機能を制御できます。
この2つのメニュー、または、ツールボタンはトグルスイッチになっており必ずどちらか一方が
選択されています。(選択されているほうはクリックできません。)

受信データをバイナリファイルで保存開始」をクリックした場合、はじめに「ファイル名をつけて
保存」画面が表示されます。ファイル名を指定し、「保存」ボタンをクリックしてください。この時点から
の受信データは全て指定したファイル名として保存されます。

終了する場合は、「受信データをバイナリファイルで保存終了」をクリックしてください。

保存したファイル内容はSPでは開くことはできません。他のエディタ等で参照してください。

Note!

受信データをバイナリファイルで保存終了」をクリックしないでSPを終了した場合でもファイルは作
成されます。

(3). SP動作履歴機能（ログを表示する。）

メニュー「表示」 「ログ」、または、ツールボタン  (ログ)をクリックしてください。
図4.7.3-1に示す「ログ」画面が呼び出されます。

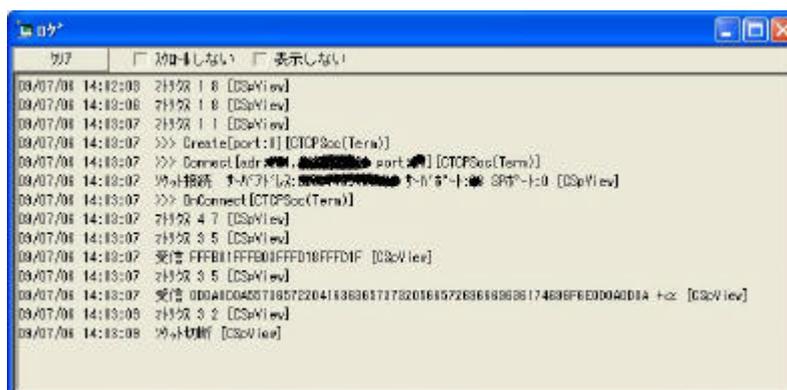


図4.7.3-1 ログ

Note!

通常はこの画面を使用することはほとんどありません。動作不具合などによりサポートをおこなう上で必要になる場合があります。